

(様式2)

## 「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書

平成 26年 9月 26日

所属：工学資源学研究科地球資源学専攻

学年 修士1年

氏名：齋藤貴明

研修先大学・機関名等(国)：MacroAsia Mining Corporation, Philex Mining Corporation (フィリピン)

在籍身分：

渡航年月日：2014年 9月 9日

帰国年月日：2014年 9月 24日

### ○研修先での学習内容等

9月11日からネグロス島のBulawanにあるPhilex Mining Corporationが採掘を行ったボーリングコアの観察を行った。そのボーリングコアはSipalay 鉱山周辺の地域のボーリングコアであり、その地域に貫入した閃緑岩の新鮮なサンプルを採取することを目的とした。9月19日にはMacroAsia Mining Corporationが採掘を行ったBasay 地域のボーリングコアの観察を行った。9月23日にはMines and Geosciences Bureauの地質に関わる博物館の中を見せて貰った。

### ○研修期間の生活面について

午前7時頃にみんなで集まって朝食を食べ、ボーリングコアの観察は午前7時半頃に始まり、コアの観察とサンプルの採取、帯磁率の測定等を行い、12時～午後1時までは昼休み、午後4時頃に終了した。そのあとは午後6時半頃また集まって夕食を食べ、その後、テレビを見たり、データ整理などを行い、午後11時頃に就寝した。

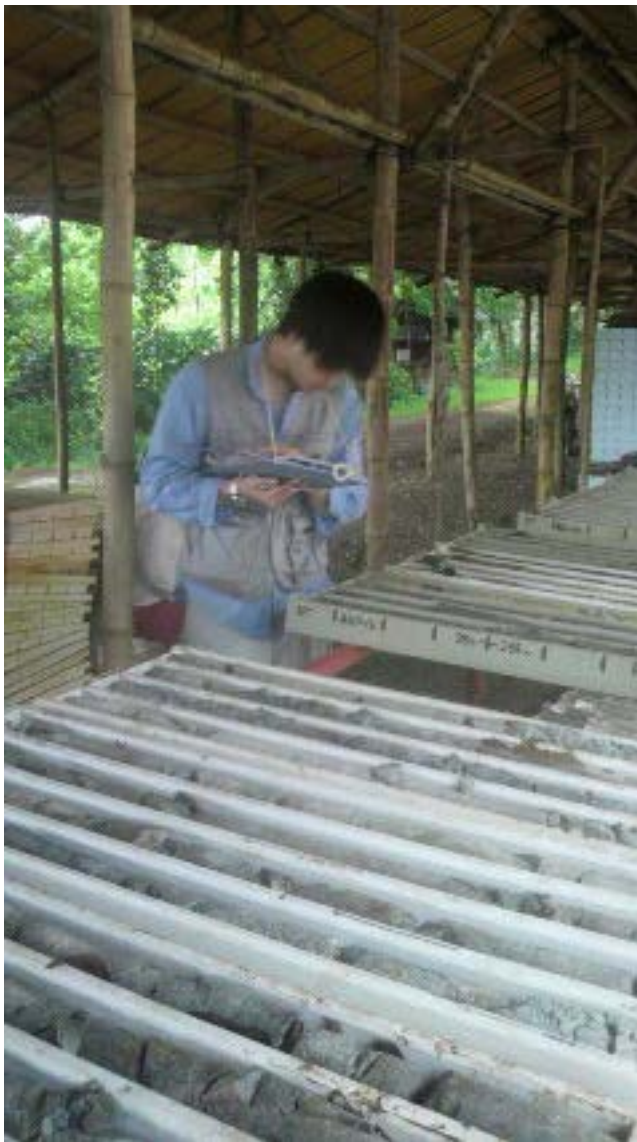
### ○研修期間全般にわたる感想

私は前回の卒業論文から引き続き、修士論文でもフィリピン、ネグロス島の貫入岩体が研究テーマになった。今回は二回目のフィリピンで、フィリピンでの生活、食にもだいぶ慣れてきたと思う。コア観察中も私の事を気にかけてくれ、ライトを準備してくれたり、水をかけて観察しやすくしてくれたりして、フィリピン人の優しさに触れあうことができた。フィリピンの屋台料理や家庭料理など前回できなかった様々な体験が出来、フィリピンで使われているタガログ語の数の言い方など教えてもらったりして、英語だけでなく、タガログ語での意思疎通もできるようになりたいと思った。

(様式 2)

○今後の勉強計画

採取してきたサンプルの XRF, 顕微鏡観察などから得られた実験結果から, ネグロス島南西部の異なる地域の岩石の比較を行う.



ボーリングコアを対象にした調査の様子